

工事完成

国道140号（新山梨環状道路東部区間Ⅱ期）工事用道路工事

工期：令和2年8月～令和3年3月

施工者：株式会社 芦沢組土木

工事概要：道路改良 L=243.3m W=4.0m(7.75m)

排水構造物工 L=377.8m

プレキャストボックスカルバート工 N=3箇所

工事用道路及び、歩道（通学路）を造る工事を行いました。

これから予定している環状道路の工事において、建設資材や機材等を運ぶ目的として道路を広くしました。通学路としても利用されている道路の為、歩道の設置工事も合わせて行いました。



側溝上部改修工

側溝の上部分のみを横切りカッターで切断後、専用の製品を設置します。掘ったりする必要がなく、すぐに車を通す事が出来たり、建設廃材がほとんど出ないというメリットがあります。

箱型側溝工



地中に水路を設置します。地面を掘って箱型の水路を設置し、少しずつ土を入れては固める作業を繰り返します。最終的に水路は地中に埋まった状態になります。

最終的に水路は地中に埋まった状態になります。

安心して通れる道へ



この道路の近くには小学校があり、通学路として使用されています。

工事前は路側帯の幅も狭く、車は子供たちのすぐ横を通過するしかありませんでしたが今回の工事により、子供たちがより安全に登校できるようになりました。

地先境界ブロック工



「縁石」という言葉はよく聞きますが、それとは違います。縁石は”道路の歩行者が歩く部分と車面が運行する部分を表すもの”であり、今回設置した地先境界石は”敷地と道路の境界線を表すもの”で区画の整理の役割があります。

ちさききょうかいし地先境界石という、道路などにおいて境界を表すコンクリートブロックを設置します。

アスファルト舗装工

赤外線温度計で温度を測りながらアスファルトを敷いていきます。アスファルトには締め固まる「最適の温度」がある為、作業のスピードや、出荷温度を調整するなど、温度管理をしっかり行う必要があります。



走行しているとよく見かける、右の写真の様な緑色に舗装された道路。これは、路側帯の存在を分かりやすくして歩行者を保護する目的があります。



緑色が安全色ということもあり、比較的統一されていますが、青や赤に舗装されている例もあります。

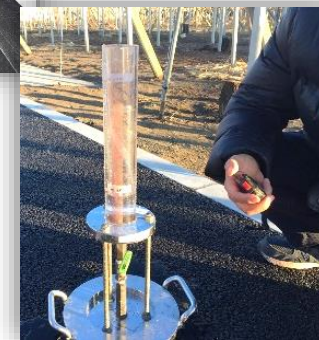


施工前

完成

意外と知られていない！？ この正式な名前

各社の商標が普通名詞的に使用されていることも多いですが、この物自体の名前はガイドポスト（車線分離標）といいます。また、今回取り付けたいラバー製で自動車が誤って接触しても自然に戻るような形状のものを「ラバーポール」と呼びます。



舗装工が終わると区画線を引いたり、雨水が溜まらないようになっているかの透水試験や道路がデコボコしたりしていないかの平坦性試験など様々な作業を終え、工事が完成します。